

# 特攻特集

各土曜日 午後2時~ ピースおおさか1階講堂 参加費無料 (ただし入館料が必要)

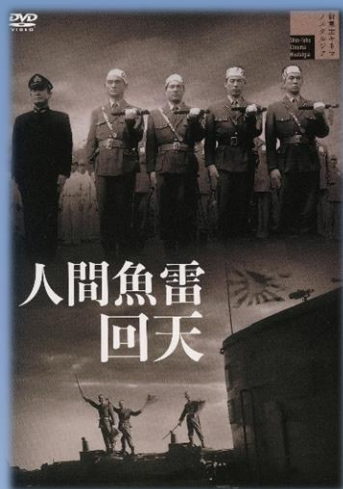
1/6, 13, 20, 27

## 人間魚雷回天

“若い俺には明日の夢さえなくなったんだ”

太平洋戦争末期、海軍は必死必殺の“人間魚雷回天”の特別攻撃隊を編成した。若き兵士たちは互いに励まし合い、死の意味を自問自答しながらも訓練にあたる日々を送っていた。そんな彼らにも出撃命令が下り、それぞれの思いを胸に、彼らを乗せた潜水艦は基地を離れていく…。

回天特別攻撃隊であった津村敏行の手記をもとに、人間魚雷回天の激戦と乗組員たちの苦悩を描いた戦史映画の傑作。



監督：松林宗恵 脚本：須崎勝弥

出演：木村功、岡田英次、宇津井健、和田孝、津島恵子 ほか

106分 モノクロ 1955 (昭和30)年 日本

## ラストメッセージ

~“不死身の特攻兵” 佐々木友次伍長~

“死ななくてもいいと思います。  
死ぬまで何度でも行って、爆弾を命中させます。”

上官の命令が絶対の戦時下で「死んで来い」と9回「特攻出撃」を命じられ、9回とも生還した兵士がいた。佐々木友次伍長 21歳。陸軍最初の特攻隊「万朶隊」操縦士に抜擢され、二度も敵艦隊に「突入」「戦死」と報じられたが奇跡的に帰還した。「十死零生」の特攻命令から、彼はなぜ生還できたのか？

佐々木友次氏が死の半年前の2015年に、病床で自らの特攻体験と思いの全てを語ったドキュメンタリー。

2/3, 10, 17, 24



監督：上松道夫 ナレーター：徳重聡、星野知子 98分 日本



## 2月17日はトーク付き上映会

上松道夫監督による上映前トーク (30分) を実施します。

※2月3日、10日、24日は上映のみ。

# 3/2, 9, 16, 23, 30 サクラ花 —桜花最期の特攻—



“咲いて散ると思うな。散って咲くんだ。”

終戦直前の昭和20年6月22日、茨城県の神之池基地から激戦地沖縄に向け、小型特攻機「桜花」を搭載した大型爆撃機が飛び立った。新人兵士の尾崎ら8人の乗員たちは、敵機からの猛攻を受け、命を落としながらも沖縄にたどり着く。そして17歳の少年・沖田に桜花での出撃が命じられるが…。

第二次世界大戦末期に生み出された、プロペラも燃料も積まず敵艦に突撃するだけの小型特攻機「桜花」を題材にした戦争ドラマ。

監督：松村克弥 語り：役所広司

出演：大和田健介、緒形直人、林家三平、三山ひろし、磯山さやか ほか  
97分 カラー 2015（平成27）年 日本

## 同窓會

# 4/6, 13, 20, 27

“恥ずかしい人生にきよならを言うために—”

終戦後、戦地で散っていった親友たちに対する罪悪感を胸に、逃げるようにペルーへと渡った俊作。60年ぶりに故郷である鹿児島へ帰り、旧制高等学校七高野球部の同級生・勝洋と再会する。ふらりと旅をする俊作をひとりにはいけないと感じた勝洋は、俊作についていくことを決意し、2人の珍道中が始まった…。

人生の終わりを日本で迎えるために帰郷した男が、親友との旅の中で様々な人と出会い、生きる喜び、生命の尊さを描いたヒューマン・ドラマ。



監督：向井寛 出演：加藤剛、愛川欽也、池内淳子、ぼんちおさむ、宍戸錠 ほか  
95分 カラー 2004（平成16）年 日本

## 特別展「特攻—知覧・万世に遺された若者たちの思い—」

2024（令和6）年1月16日～3月31日 1階特別展示室で開催

【ところ】ピースおおさか1階講堂 【申込方法】申込不要(当日先着順)  
【対象】どなたでも(小学生以下は保護者の方と同伴)  
【入館料】大人250円、高校生150円、中学生以下は無料  
65歳以上・障がい者の方も無料(要証明書)、20名以上は団体割引  
【主催】公益財団法人 大阪国際平和センター(ピースおおさか)  
〒540-0002 大阪市中央区大阪城2-1 TEL 06-6947-7208  
http://www.peace-osaka.or.jp FAX 06-6943-6080  
【最寄り駅】JR環状線「森ノ宮」北出口 Osaka Metro「森ノ宮」①番出口

